

第 5 章

地域別の取組状況

(1) 佐久地域 ～多様な人材で支え合う持続可能な佐久の農業・農村～

■達成指標の進捗状況

重点 取組	達成指標	2021 年度	2025 年度		2027 年度
		現状	計画	実績	目標
1	新規就農者数（49 歳以下）	28 人/年	33 人/年	18 人/年	33 人/年
	中核的経営体数	2,097 経営体	2,130 経営体	2,555 経営体	2,150 経営体
2	堆肥入り化学肥料の施用面積	195ha	260ha	211ha	300ha
	鮮度保持機能の向上を行う施設数（累計）	—	2 施設	3 施設	3 施設
3	新規需要米等の作付け面積	228ha	250ha	93ha	260ha
	ブルーの栽培面積	71ha	71ha	71ha	71ha
4	化学合成農薬・化学肥料を原則 50%以上削減した栽培や有機農業に取り組む面積	474ha	632ha	681ha	725ha
5	地域ぐるみで取り組む多面的機能を維持・発揮するための活動面積	4,444ha	4,583ha	4,560ha	4,602ha
	防災重点ため池等の地震耐性評価の実施箇所数（累計）	18 か所	50 か所	58 か所	84 か所
6	売上額 1 億円を超える農産物直売所の売上高	23.3 億円	24.1 億円	32.2 億円	25 億円
	新たに地元食材を供給する宿泊施設・飲食店数（累計）	—	11 施設	18 施設	20 施設

重点取組 1：皆が憧れる経営体の育成と人材の確保

- 担い手を明確にする地域計画の策定と実現に向けた支援
 - ・ 地域計画のブラッシュアップに向けた協議の場の運営支援（41 回）
- 意欲ある担い手の生産技術、経営能力向上支援
 - ・ 新規就農スキルアップ講座による生産技術の向上（講義 4 回）
 - ・ 農業複式簿記講座を通じた経営管理能力の向上（講義 6 回）
- 市町村、関係団体と連携した新規就農者の確保・育成及び就農後のサポート
 - ・ 地域が求める品目での新規就農者募集支援（デジタル農活信州 HP への品目情報掲載（1 地区））
 - ・ サポートチームによる営農状況の把握と改善指導（4 経営体）



【地域計画協議の場】

重点取組 2：夏秋期葉洋菜等の全国ナンバー 1 産地としての持続的発展

- 需要に応じた葉洋菜の計画生産と、環境に配慮した資材・技術導入によるグリーン栽培の推進
 - ・ ペレット堆肥及びオリジナル肥料活用チラシの作成による堆肥施用の推進
 - ・ フェロモン剤利用者への発生予察情報提供と適期防除指導による殺虫剤使用料削減
- 適正規模による効率的な経営モデルの推進
 - ・ 新規輪作体系品目（サヤインゲン、ピーマン等）の事例把握、ネギ、セルリー導入農家の栽培指導（5 回）
- 稼ぐ野菜産地を支える鮮度保持施設等の機能向上支援
 - ・ 葉洋菜の鮮度保持施設の整備（1 か所）と計画策定（2 か所）の支援



【ネギの栽培状況】

重点取組 3：佐久の立地と気象を生かした個性が光る産地づくり

- **水田農業の高単収と高品質の維持に向けた安定生産及びスマート農業技術の導入推進と雑草イネの発生面積抑制**
 - ・ 水稻の高温障害回避のため作期移動試験の実施（1 か所）
 - ・ 雑草イネ対策プロジェクトチームによる雑草イネ多発農家の個別指導（10 戸）
- **生乳の生産性向上や効率的な飼料給与技術の導入による酪農等の生産基盤の強化**
 - ・ 牛群ドックに基づく飼養管理技術向上指導の実施（11 戸）
- **プールの生産量維持と佐久の強み生かした品種構成による産地展開**
 - ・ 生食プールの認知度向上と魅力発信に向けたイベントの開催（プールフェア 1 回、スイーツスタンプラリーの実施）
 - ・ 栽培講習会の支援（10 回）
- **施設花きの連作障害対策と燃油削減技術の導入による低コスト安定生産**
 - ・ トルコギョウ立枯病対策の土壌還元消毒試験ほの設置（1 か所）



【佐久プールフェア】

重点取組 4：環境にやさしい農業の取組面積の拡大

- **土壌診断に基づく施肥設計や化学肥料を削減した栽培の推進**
 - ・ 非結球レタスの土壌診断結果に基づくリン酸減肥試験の実施（1 か所）
 - ・ 施設花きの土壌診断結果に基づく個別面談実施による適正施肥の推進（10 戸）
- **有機農業生産者グループの育成と安定生産の推進**
 - ・ ミニトマトの低圧ミストによる高温対策実証試験の実施（1 か所）



【リン酸減肥試験検討会】

重点取組 5：農業・農村の多面的機能の維持と災害から暮らしを守る防災対策の実施

- **多面的機能支払事業等を活用した農地や農業用水路の適切な管理の支援**
 - ・ 活動面積の維持・拡大を図るため、市町村や活動組織への制度説明会や技術研修会等の開催（18 回）
- **防災重点農業用ため池に係る防災対策の集中的かつ計画的な推進**
 - ・ 地震に対する耐性評価の実施及び、評価結果に基づく防災工事等の取組に向けた支援の実施（12 か所）
- **地域ぐるみで取り組む野生鳥獣被害対策への支援**
 - ・ 被害対策研修会の開催（1 回）



【野生鳥獣被害対策研修会】

重点取組 6：地域食材の魅力を伝える地消地産と食育の推進

- **農産物直売所の店舗運営、品揃え充実、直売所間連携等のための研修会等の開催**
 - ・ 農産物直売所の共通課題明確化のための農産物直売所交流会の開催（1 回）
- **特徴ある農畜産物・水産物の宿泊施設等への供給による地消地産の推進**
 - ・ 地元農産物の宿泊施設への提供とアンケートの実施（12 施設）
 - ・ 佐久地域農産物の魅力発信のための調理レシピ及び動画の作成
- **関係機関と連携した食育・花育活動の推進**
 - ・ 地域の花を利用したフラワーアレンジメント教室の開催（4 回）
 - ・ 小学生を対象とした麦まき体験の支援（1 回）



【小学生の麦まき体験】

(2) 上田地域 ～人・食・地域 つながり輝く上小農業～

■達成指標の進捗状況

重点 取組	達成指標	2021 年度	2025 年度		2027 年度
		現状	計画	実績	目標
1	新規就農者数（49 歳以下）	7 人/年	11 人/年	17 人/年	11 人/年
	中核的経営体数	529 経営体	583 経営体	580 経営体	620 経営体
2	多目的ネット等の利用面積	59ha	84ha	85.5ha	100ha
	醸造用ぶどうの収穫量	281t	856t	353.4t	1,200t
	持続性の高い生産方式導入面積	428ha	476ha	361ha	500ha
3	県オリジナル品種等の普及面積	293ha	613ha	638.5ha	624ha
	米・ぶどうの輸出量	245t	280t	219t	300t
4	都市農村交流人口	6,576 人	23,030 人	30,039 人	34,000 人
5	防災重点農業用ため池の防災対策工事の着手箇所数	21 か所	26 か所	26 か所	29 か所
6	学校給食の県産食材利用割合（品目ベース）	46%	47.2%	43.3%	48%
	常設農産物直売所の売上額	20 億円	23 億円	35.5 億円	25 億円

重点取組 1：人と地域のつながりによる担い手の確保と農地利用

- **地域サポート計画の充実による新規就農者の確保・育成**
 - ・ 市町村、JA 等と連携した地域サポート計画の作成及び見直しを支援（各市町村）
 - ・ 地域サポート計画に基づいた就農希望者への相談会や新規就農者を対象とした支援セミナー等の開催による支援（受講延べ 92 人）
 - ・ 次世代を担う農業者（資金交付対象者）への定期的な面談等による経営確立を支援（対象者 42 名）
- **地域計画に基づく地域に合った農地利用の推進**
 - ・ 地域計画の実現に向けた個別課題等の協議の場開催を支援（各市町村）
 - ・ 中間管理機構と連携し多様な担い手への優良農地の集積・集約を推進
- **経営計画の実現による地域農業を担う中核的経営体の確保**
 - ・ 経営管理の実践による経営力向上に向けた取組を支援（1 経営体）【地域計画のブラッシュアップ協議】
 - ・ 経営改善計画の策定及び更新支援による認定農業者の育成（42 経営体）



重点取組 2：持続性の高い生産方式への転換と稼げる農畜産物生産

- **気象変動や気象災害に強い産地づくり**
 - ・ 多目的ネット（簡易雨よけ施設含む）の導入促進による災害防止等の技術向上を支援（アスパラ茎葉菜類等現地指導会：2 回、果樹日焼け果発生抑制対策講習会等：1 回）
 - ・ 収入保険加入増加につながる講習会等での啓発を支援（随時実施）
- **自然を活かした環境保全型農業の拡大**
 - ・ 「みどり認定（旧エコファーマー）」制度の周知と取得者の拡大（啓発活動 2 回、新規取得 5・更新 8 件）
 - ・ 環境にやさしい農産物認証の取得を推進（啓発活動 1 回、新規取得 2 件）
 - ・ オーガニックビレッジ宣言に向けて支援（長和町：研修会開催支援等 9 回）
- **生産性や所得の向上につながる新技術・新品種等の普及定着**
 - ・ 麦「しゅんよう」への転換に向けた取組等（調査 3 回、検討会実施・情報提供 1 回）
- **ワイン文化の定着に応える醸造用ぶどうの質・量の向上**



【アスパラガス現地指導会】

- ・ 栽培技術の向上を目指した生産者技術セミナーの開催（1回）及び千曲川ワインアカデミーへの開催を支援（1回）
- **温室効果ガス排出量の少ない生産方式の導入支援**
 - ・ 果樹せん定枝炭化器を利用した炭素貯留によるゼロカーボンへの取組意識醸成（各種指導会での啓発5回）
- **特定家畜伝染病対策の強化**
 - ・ 飼養衛生管理基準の遵守の徹底及び防疫演習等の実施による防疫体制の強化（防疫演習2回）
- **野生鳥獣被害防止対策の強化**
 - ・ 補助事業を活用し侵入防止柵の設置（長和町1か所）及び捕獲通信設備の導入（上田市）を支援



【佐久地域と合同の防疫演習】

重点取組3：実需者に“つながり・応える”生産と流通の拡大

- **消費ターゲットを明確化した生産対応と販路拡大**
 - ・ 消費者が求めるりんご・ぶどうのオリジナル品種等の品質向上に向けた対策を支援（講習会5回）
- **ワイン等酒類の需要拡大につなげる販売力・発信力の強化**
 - ・ 千曲川ワインバレー特区連絡協議会と連携した販促イベントの開催や情報発信を支援（イベント等3回）



【りんごの日焼け対策講習会】

重点取組4：地域資源を活かした“人と地域”のつながりの活性化

- **地域資源の維持保全活動を通じた地域活動の活性化支援と魅力発信**
 - ・ 棚田など農業資産の魅力や役割を発信するとともに維持保全活動を支援
 - ・ 企業等と連携した継続的な棚田保全活動に向けて「稲倉の棚田」と（株）KURABITO STAY が新たに棚田パートナーシップ協定を締結
 - ・ ため池の防災対策工事に併せて、地域住民や大学等と連携した希少植物の保全活動を支援（4地区）
- **“農ある暮らし・農業体験”の充実による都市農村交流の活性化**
 - ・ 「稲倉の棚田」を中心とした農業体験型滞在施設の整備に向け支援（随時実施）
 - ・ 定年帰農、クラインガルテンなど「農ある暮らし」の情報を発信（講習会1回）



【棚田パートナーシップ協定締結式】

重点取組5：農村の暮らしを守る農業基盤の強靱化

- **ハード・ソフト一体となった“ため池”防災減災対策の推進**
 - ・ ため池の計画的な防災等対策工事着手に向けた計画策定の支援（2地区）と工事を推進（7地区）
- **排水対策の強化等に向けた農業水利施設の自動化・遠隔化の推進**
 - ・ 基幹的農業水利施設における水門の自動化・遠隔化を支援（1か所）



【防災工事を実施した浅間池】

重点取組6：食文化の伝承と地産地消の推進

- **地元農産物や食文化を活用した食育・農育の推進**
 - ・ 地域伝統野菜等を使った食育活動を推進（上田市内小学校3校）
 - ・ 関係機関と連携した食育地域フォーラムを開催し食育を推進
- **農産物直売所の機能拡大による地産地消の推進**
 - ・ 直売所マップの配布やポップの導入による集客及び消費拡大の取組を支援
 - ・ 端境期の品揃え充実に向けた新品目導入試験や地域の貯蔵技術収集の結果成績等の情報を提供（情報発信3回）



【伝統野菜「山口大根」の栽培を通じた食育】

（３）諏訪地域 ～多様な担い手でつむぎ・守る 自然と共生する諏訪の農業農村～

■達成指標の進捗状況

重点 取組	達成指標	2021 年	2025 年度		2027 年度
		現状	計画	実績	目標
1	中核的経営体数	530 経営体	540 経営体	604 経営体	540 経営体
	新規就農者数（49 歳以下）	8 人／年	9 人／年	9 人／年	9 人／年
2	セルリーの出荷数量	8,005 t	8,200 t	6,916 t	8,500 t
	ブロッコリーの出荷数量	1,593 t	1,733 t	1,595 t	1,800 t
	アルストロメリアの出荷本数	1,183 千本	1,919 千本	2,556 千本	1,957 千本
3	基幹的な農業用水利施設整備延長	41.1km	42.1km	41.8km	42.9km
	担い手への農地集積・集約化を実現する基盤整備面積	37ha	57ha	47ha	73ha
4	信州の環境にやさしい農産物認証 取組件数	18 件	23 件	23 件	25 件
	緑肥の利用面積	123ha	198ha	228ha	204ha
5	地域ぐるみで取り組む多面的機能を 維持・発揮するための活動面積	2,663ha	2,661a	2,772ha	2,663ha
6	食育活動や農業イベントを実施する 農産物直売所数	30 店舗	30 店舗	31 店舗	30 店舗

重点取組 1：諏訪農業をつむぎ・守る多様な担い手の確保・育成

- 就農前研修の充実と関係機関が連携した円滑な就農支援
 - ・ 里親研修生に対する定期巡回や集合研修による就農前の技術・知識の習得促進
- 「地域計画」による多様な担い手の明確化と育成
 - ・ 地域計画の実現に向けた担い手の育成支援と計画の適時見直しの推進（6 市町村）
- 企業法人の誘致による新たな農業モデル・雇用の創出
 - ・ 参入企業法人等への相談対応（1 社）
- 農業・農村における女性の活躍を支援
 - ・ セミナー等の集合研修によるスキルアップを支援（2 回）



【地域計画見直しの協議の場】

重点取組 2：高標高を活かした「稼げる」諏訪農畜産物の生産力強化

- セルリー疫病、テンサイシストセンチュウの防除技術や、転作田の排水対策の確立によるセルリー、ブロッコリー等野菜の生産安定
 - ・ セルリー疫病対策に係る現地実証と排水対策の検討
 - ・ 輪作を前提としたテンサイシストセンチュウの防除体系の導入に向けた支援（研修会、個別相談会等の開催 3 回）
- トルコギキョウの土壤病害対策やキク類、カーネーション、花木類等の生産拡大、品目複合等による花きの収益性向上
 - ・ トルコギキョウ立枯れ症状の耕種的防除に向けた品種特性把握（調査及び情報提供）
 - ・ LED 電照を活用したキク栽培の省エネ化を推進（1 地区）
- スマート農業技術や有望品種の導入による水稻の大規模化と収益性向上
 - ・ 環境制御機器（ハウス暖房器）の導入を支援（1 地区）



【新たな野菜品目研修会】

- 高温化に対応したりんごやワイン用ぶどう等果樹生産の拡大や新たな園芸品目の導入
 - ・ ワイン用ぶどう栽培技術のスキルアップ研修の実施（2回）
 - ・ りんごの生産拡大に向けた支援

重点取組3：地域農業の将来像・担い手を明確にした農地利用と基盤整備

- 基幹的農業水利施設の計画的な整備、更新と保全管理
 - ・ 「滝之湯堰地区」（茅野市）の改修工事を実施（実施延長 L=0.6 km）
- 農地の利用計画や特性に応じた基盤整備
 - ・ 「高森地区」（富士見町）の水田の畑作利用等に向けた基盤整備における測量設計の実施（実施面積 A=30ha）
- 中核的経営体への農地の利用集積を推進
 - ・ 「諏訪平地区」（諏訪市）における中心経営体（担い手）への農地集積・集約化促進のため、耕作条件の改善を目的としたほ場整備工事の実施（実施面積 A=12ha）
- 市街地等、小規模農地に適した品目導入や有効活用の支援
 - ・ 新品目「トウガラシ」生産振興の支援（2市町）



【滝之湯堰改修工事】



【諏訪平地区ほ場整備】

重点取組4：諏訪湖や八ヶ岳山麓等の豊かな自然と共生する農業の推進

- 輪作や緑肥の活用、捕獲作物の導入等、化学合成農薬のみに頼らないグリーン栽培の導入と面的拡大
 - ・ 葉ダイコン等を活用した輪作体系の確立（228ha）
- 果樹せん定枝等を活用した炭素貯留の取組を推進
 - ・ 剪定枝の炭化と土壤還元による炭素貯留の取組を支援（3回）
- 諏訪湖の漁業振興に係る「諏訪湖創生ビジョン」の推進
 - ・ 魚食性鳥類や外来魚の対策の支援と漁業振興に係る検討会の開催（1回）



【緑肥作物の作付け状況】

重点取組5：多様な人々が暮らし・守る農村の機能とコミュニティの維持

- 農村の多面的機能を維持する地域での取組の推進
 - ・ 中山間直接支払や多面的機能支払による共同活動の支援（96組織・集落）
- 野生鳥獣の追い払い、緩衝帯や防護柵の設置等、集落ぐるみによる鳥獣被害対策の推進
 - ・ 防除対策、捕獲対策及び環境整備等を総合的かつ効果的な対策を支援（11か所）



【市町村との鳥獣被害検討会】

重点取組6：消費者とつながる諏訪の食

- 地元農産物を活用した食育や花育活動の推進
 - ・ 地域と連携した小学生への花育体験の実施（2地区）
- 農産物直売所と連携した地元農産物のPR
 - ・ 農産物直売所マップや「おいしい信州ふード」HPを活用した情報発信（31店舗）
- 学校給食における地元農産物の利用促進
 - ・ 保育園を含む教育機関における有機給食の支援及び掘り起こし（1か所）



【小学校でのフラワーアレンジメント教室】

(4) 上伊那地域 ～女性・若者も参画して未来へつなぐ活力みなぎる上伊那農業～

■達成指標の進捗状況

重点 取組	達成指標	2021 年度	2025 年度		2027 年度
		現状	計画	実績	目標
1	新規就農者数（49 歳以下）	23 人/年	18 人/年	16 人/年	18 人/年
	中核的経営体数	609 経営体	626 経営体	702 経営体	620 経営体
2	小麦の収量	215kg/10a	305kg/10a	402kg/10a	350kg/10a
	大豆の収量	150kg/10a	216.4kg/10a	152kg/10a	250kg/10a
	大規模水稻経営体におけるスマート農業技術導入率	25%	41%	52.0%	44%
3	アルストロメリアの栽培面積	14.7ha	15.0ha	14.3ha	15.2ha
	白ねぎの栽培面積	56ha	75ha	79.7ha	62ha
	アスパラガスの新・改植の増加面積	0.5ha 増/年	1.2ha 増/年	1.4ha 増/年	1.4ha 増/年
	乳用牛の 1 戸当たり平均飼養頭数	56.5 頭	70.1 頭	80.5 頭	75.6 頭
4	地域ぐるみで取り組む多面的機能を維持・発揮するための活動面積	8,386ha	8,720ha	8,235ha	8,721ha
	野生鳥獣による農作物被害額	43 百万円	34 百万円	44 百万円	31 百万円
5	売上額 1 億円を超える農産物直売所の売上高	21.7 億円	22.4 億円	22.2 億円	23.0 億円
	学校給食における県産食材の利用割合（品目ベース）	52%	53.1%	45.7%	54.0%

重点取組 1：皆が憧れる経営体の育成と人材の確保

- 関係機関が連携して取り組む相談活動等による新規就農者の確保
 - ・ 市町村等関係機関と連携した就農相談対応（随時）と就農促進連絡会議の開催（2 回）
- 個別巡回や研修事業等により新規就農者の早期経営確立・定着を支援
 - ・ 新規就農者向け農業講座による基礎知識習得（6 回）と個別巡回の実施（年 1 回以上）
- 専門家派遣や補助事業等を活用した中核的経営体の経営発展支援
 - ・ 対象 3 経営体への伴走支援（各 1 回以上）、うち 1 経営体への専門家派遣（2 回）
- 地域農業の将来像（主な作付品目、農業利用していく区域の設定、担い手確保対策等）の明確化を支援し、担い手への円滑な農地集積を推進
 - ・ 地域計画のブラッシュアップに係る現地支援チームによる支援（8 市町村）
- 女性農業者の地域活動活性化や農業振興への参画を支援
 - ・ 女性活躍に関するアクションプラン推進のための研修会・交流会の開催（3 回）



【就農促進連絡会議】

重点取組 2：水田農業経営体の経営発展とマーケットニーズに応える高品質米生産の推進

- 高収益作物や土地利用型作物新品種の導入と生産安定による水田農業経営体の経営体質強化
 - ・ 小麦及び大豆の病害虫防除試験ほの設置（各 1 か所）と関係機関へ情報提供
- ドローンなどスマート農業技術の麦・大豆等への利用拡大による収量安定
 - ・ ドローン活用検討会の開催（1 回）
- 環境にやさしい農産物認証など、持続的で付加価値の高い米生産の推進
 - ・ 水稻特別栽培技術向上のための研修会の開催（3 回）
- 農作業の効率化を実現するための生産基盤の整備と農業水利施設等の長寿命化対策
 - ・ 担い手への農地集積・集約を可能とする区画整理を実施（2 地区）



【ドローン防除】

- ・ 農業用水を安定的に供給するため、機能診断に基づく長寿命化対策を実施（2地区）
- ・ 高速道路をまたぐ旧水路橋の撤去を実施（1橋）

重点取組3：上伊那の自然環境を活かした多品目農畜産物の持続的生産の推進

- **アルストロメリア・トルコギキョウの生産性向上（基本技術徹底、需要に応えるための新作型・新栽培方法の検討と技術確立）**
 - ・ 害虫調査ほ場の設置（1か所）、トルコギキョウの2回転作型適応品種の選定試験ほ場の設置と実証試験（1か所）
- **白ねぎ・アスパラガス・ブロッコリーの栽培技術平準化による生産安定と生産拡大**
 - ・ アスパラガスハウス内の高温対策の検証1か所、白ねぎ・ブロッコリーの新品種検討（各1か所）と害虫発生予察ほ（各1か所）による適期防除
- **県オリジナル品種（りんご「シナノリップ」、ぶどう「クイーンルージュ®」）等の生産拡大、担い手の確保と円滑な園地継承支援**
 - ・ 7～9月熟度調査（りんご「シナノリップ」2か所、ぶどう「クイーンルージュ®」1か所）の情報提供（11回）による適期収穫の徹底
- **有機農業など環境にやさしい農業の推進**
 - ・ みどり交付金を活用し、有機農業への転換や学校給食への推進を支援（1市）
 - ・ 緑肥を活用した学校給食向け農産物の生産支援（1か所）
- **飼養管理技術・自給飼料品質の向上、規模拡大・先進技術導入による畜産の生産力強化及び家畜防疫体制の強化**
 - ・ 特定家畜伝染病の発生に備え、有事を想定した集合施設での防疫演習の実施（1回）



【トルコ2回転作型適応品種試験】

重点取組4：地域ぐるみで守る、二つのアルプスに囲まれた快適な農村環境

- **中山間地域等直接支払や多面的機能支払を最大限活用した農村環境の維持・保全**
 - ・ 地域が協働して取り組む保全活動や地域資源の質的向上に資する活動を支援（8市町村）
- **住民自らが行う地域ぐるみの野生鳥獣被害対策の実施支援**
 - ・ 緩衝帯整備（2市町）や有害鳥獣駆除等の被害防止体制整備への支援（8市町村）
 - ・ 中型獣を対象とした侵入防止柵の設置支援（1村）、維持管理の啓発（点検マニュアル作成）
- **地域の生活を支える基幹農道の改修・整備、災害を未然に防止するための水路等の補強・改修**
 - ・ 県営農道整備事業により、基幹農道の歩道整備に着手（1地区）
 - ・ 県単緊急農地防災事業により、災害を未然に防止するための水路改修を実施（4地区）



【侵入防止柵設置講習会】

重点取組5：生産と消費を結ぶ上伊那の食の展開

- **地域活性化や消費者ニーズに応える農産物直売所の機能強化**
 - ・ 農産物直売所の品揃え充実に向けた栽培講習会の開催（7回）
- **地域農業への理解を深める「食育」「農育」の推進**
 - ・ 農業の歴史や農業用施設の役割を伝える小学生向け見学会「農業用水探検隊」の開催（14回）
 - ・ 農業の大切さや農業資産について学ぶ小学生向けの教材を製作・配布



【農業用水探検隊】

(5) 南信州地域 ～皆でつなぐ 南信州農業の新たな時代～

■ 達成指標の進捗状況

重点 取組	達成指標	2021 年度	2025 年度		2027 年度
		現状	計画	実績	目標
1	新規就農者数（49 歳以下）	41 人/年	30 人/年	32 人/年	30 人/年
	I ターン就農者数	8 人/年	8 人/年	8 人/年	8 人/年
2	日本なしの早期多収省力栽培技術導入面積	4.6ha	8 ha	10.7ha	10ha
	担い手への市田柿集積面積（農地中間管理事業）	5.7ha/年	6 ha/年	21.9ha/年	6 ha/年
3	きゅうり・アスパラガス施設面積	36ha	38.5ha	39.9ha	39.5ha
	農業用ドローンによる防除面積	21ha	180ha	173.2ha	198ha
4	基幹的な農業水利施設の整備箇所数（計画期間内整備量）	—	3 か所	2 か所	5 か所
	防災重点農業用ため池の耐震性診断実施箇所数	9 か所	23 か所	27 か所	31 か所
5	都市農村交流人口	38,882 人	186,000 人	170,368 人	200,000 人
6	学校給食における県産食材の利用割合（品目ベース）	53%	54.1%	47.4%	55%
	学校と連携した地域農産物に係る情報提供の回数	—	6 回/年	7 回/年	6 回/年

重点取組 1：皆が憧れる農業の担い手の確保・育成

- 県、市町村、J A が連携し、地域の特徴を踏まえた就農作戦会議や相談活動による担い手の確保
 - ・ 市町村・J A と連携した相談活動及び就農作戦会議の開催（全体 1 回、4 地域各 1 回）
- 研修事業及び経営発展支援等の充実による地域農業をリードする担い手の育成強化
 - ・ 就農 5 年以内の者の経営管理能力向上を目的としたスキルアップセミナーの開催（8 回）
- 中核的経営体の資質向上及び多様な担い手の支援
 - ・ 他産業従事後に農業経営を開始する者等を対象にした帰農塾の開催（基礎講座 4 回、専門講座 6 品目のべ 29 回）
 - ・ 農業参入を目指す食品企業に対する農業経営改善計画の作成など基盤確立に向けた支援（打合せ 7 回）



【スキルアップセミナー】

重点取組 2：新技術や新品種の拡大による競争力の強い果樹産地づくり

- 日本なし産地再生プロジェクトにより、J A 等関係機関と連携し、担い手確保、新たな技術の導入及び園地の整備等に取り組み、稼げる産地の再構築を推進
 - ・ なし栽培 5 年以内の生産者のレベルアップを図るため、重点対象者の巡回指導の実施及び省力樹形栽培実践講習会を開催（4 回）、新規就農予定者を対象としたサンデー日本なし講座の開催（6 回）
 - ・ 「天空のしずく」の現地導入に向けた検討会の開催（1 回）
- 市田柿の円滑な樹園地継承と「市田柿+α」複合経営の推進
 - ・ 市田柿ブランド推進協議会等と連携した樹園地継承の検討（3 回）、栽培・加工技術研修会（2 回）、生産加工販売反省会（1 回）の開催
 - ・ 新規就農希望者及び里親研修生への「市田柿+きゅうり」複合経営モデルの提案（6 人）



【市田柿栽培・加工技術研修会】

重点取組 3：南信州らしさを生かした複合産地の構築

- きゅうり・アスパラガス・白ねぎの生産安定
 - ・ 担い手によるきゅうりの産地力強化のための環境モニタリングシステムの導入（3 経営体）と現地研修会の開催（3 回）

- **南信州牛(信州アミ牛牛肉を含む)・銘柄豚などの生産拡大及び家畜防疫対策の徹底**
 - ・ 農場HACCPの啓発及び飼養衛生管理基準の周知等による家畜防疫対策の徹底（肉牛農家 73 戸、養豚農家 12 戸、養鶏農家 10 戸）
- **スマート農業技術の導入による省力化や生産性向上の推進**
 - ・ 農業用ドローンを利用した水稻斑点米カメムシ類等の集団防除の取組拡大支援（2 か所）及びスマート農業ミニ講習会（環境モニタリングシステム）の開催（5 回）
- **環境への負荷を低減した有機農業等の環境にやさしい農業の推進**
 - ・ いちごのグリーンな栽培体系の検証（1 か所）
- **気候変動に対応した技術の導入及び経営継続のためのリスク対策の推進**
 - ・ 施設園芸（花き）における暑熱対策の検討



【遮熱対策試験】

重点取組 4：皆でつなぐ豊かな農村

- **地域の話合いにより守るべき農地と担い手を明確化**
 - ・ 地域計画を進めるための地域の話合いや取組を支援（14 市町村）
 - ・ 地域計画の実践を通じた担い手の確保と農業基盤の整備を推進（1 地区）
- **伝統野菜や茶などの豊かな食文化や栽培技術の継承を支援**
 - ・ 生産者や飲食店等で組織する「南信州伝統野菜協議会」の活動支援（7 回）
 - ・ 茶産地維持のための有機栽培体系の実証試験の実施（3 か所）、共進会の実施（1 回）
- **集落機能を維持するため、野生鳥獣被害対策などを支援**
 - ・ サル、ハクビシン等を対象とした電気柵の展示ほ設置（10 か所）と設置講習会の開催
- **農村の多面的機能の維持と活用促進**
 - ・ 多面的機能支払交付金を活用し、農地・水路・農道等の保全活動及び補修・補強・更新等の質的向上活動を支援（12 市町村）
- **水路など農業用施設の長寿命化、農村地域における防災対策の推進**
 - ・ 竜東一貫水路の補修工事（1 か所）及び防災重点農業用ため池の耐震性診断の実施（5 か所）



【竜東一貫水路の補修工事】

重点取組 5：リニア新時代 世界に通用する農村交流の体制構築

- **つながり人口増加を見据えた直売所の支援、「観光＋農業」の推進**
 - ・ クラインガルテン利用者と地元管理組合との野菜栽培を通じた交流促進支援（3 回）
- **伝統野菜、南信州牛など地域食材等を取り入れた「食」を介した交流の促進**
 - ・ 生産者と飲食店の連携による地域食材の魅力を発信するイベントの開催支援（4 回）
- **食品企業等との連携による地域農畜産物の活用を促進**
 - ・ 地域の菓子店とタイアップした日本なしを使用した菓子等商品開発の支援とPRの実施（9 事業者、11 商品）



【南信州伝統野菜フェア】

重点取組 6：農や食への理解醸成

- **農業体験会の開催など教育現場や飲食店関係者等との協働による食育・農育の強化**
 - ・ 小学生を対象とした市田柿等の食育事業を実施（3 校）
- **エシカル消費を推進するため、地域農畜産物などの利用を促進**
 - ・ 教育事務所と連携し、飯田下伊那栄養教諭・学校栄養職員部会へ地域農産物利用促進に向けた情報を提供（7 回）
- **市田柿など地域農畜産物の魅力発信**
 - ・ 市田柿活性化推進協議会と連携し、県外イベントでの市田柿のリーフレットの配布による情報発信（1 回）



【小学生の食育事業】

(6) 木曽地域 ～未来につながる木曽の豊かな農業・農村と食～

■達成指標の進捗状況

重点 取組	達成指標	2021 年度	2025 年度		2027 年度
		現状	計画	実績	目標
1	「地域計画」の策定数	0	22	22	22
	新規就農者数（49 歳以下）	3 人/年	2 人/年	1 人/年	2 人/年
2	米の 1 等米比率	78.9%	85%	58.9%	85%
	「御嶽はくさい®」栽培面積	50ha	47ha	43ha	45ha
	「木曽子牛」出荷頭数	5.7 頭/戸	5.95 頭/戸	6.5 頭/戸	6.0 頭/戸
	花き・花木類の栽培面積	2.3ha	2.4ha	2.3ha	2.4ha
3	野生鳥獣による農作物被害額	12.8 百万円	12.1 百万円	9.2 百万円	11.8 百万円
	地域ぐるみで取り組む多面的機能を維持・発揮するための活動面積	493ha	489ha	462ha	489ha
	農業用水を活用した小水力発電の設備容量	34.4kw	366kw	366kw	366kw
4	伝統食材提供店舗数（木曽牛、すんき、木曽産そば）	57 店	59 店	59 店	60 店
	伝統野菜の栽培面積（王滝蕪など 7 品種）	2.1ha	2.1ha	1.8ha	2.1ha

重点取組 1：多様な担い手が支えあう木曽の農業・農村

○ 新規就農者の確保及び育成と地域への定着を支援

- ・ 新規就農者の受入体制を整備するため、就農連絡会を開催（1 回、14 人）、就農相談を実施（11 回、8 人）
- ・ 高校生の就農への意欲高揚を図るため、青峰高等学校でセミナー等を開催（4 回、36 人）
- ・ 新規就農者の経営開始支援（経営開始型・経営開始資金 3 名）



【農業入門講座】

○ 農業農村をけん引する担い手を育成

- ・ 農業知識を習得するため、農業入門講座を開催（8 回 8 人）簿記講座（3 回 6 人）
- ・ 課題解決能力向上を図るため、カイゼン手法導入へ誘導（1 団体）
- ・ 農村女性の活躍の場を増やすため、研修会を開催（2 回、37 人）
- ・ 地域計画の実現に向けた農地の最適化（農地利用最適化活動 6 町村）

重点取組 2：木曽ブランドを支える産地づくり（土地利用作物、園芸品目、畜産振興）

○ 新たな品目導入による産地の活性化を支援（重点活動）

- ・ 酒米の生産拡大と生産者を確保するため、酒蔵と生産者を交えた中間検討会を開催（1 回、32 人）、酒米新系統の導入検討の試験ほを設置（1 か所、情報共有 2 回）
- ・ 啓翁桜の適期出荷による生産振興を図るため、ふかし技術を提案（2 回、10 人）、新規花木の生産拡大と生産者を確保するため、現地検討会を開催（1 回、19 人）



【酒米中間検討会】

○ 「御嶽はくさい®」のブランド維持を支援

- ・ 木曽に適した品種を選定するため、調査ほ場を設置（1 か所、情報共有 2 回）
- ・ 経営コスト削減を図るため、土壌診断に基づく施肥試験を実施（1 か所、情報共有 3 回）
- ・ 安定生産を図るため、排水不良対策を提案（情報提供 1 回）



【開田高原はくさい減肥試験】

○ 木曽ならではの農産物生産を支援

- ・ (野菜) 軽量園芸品目の生産振興を図るため、個別指導を実施 (各 10 回、2 人)
- ・ (花き) 切り花の生産振興を図るため、仕立て指導会を開催 (2 回、10 人)
- ・ (果樹) ブルーベリーの生産安定を図るため、病害防除を指導 (2 回、2 人)
- ・ (水稻) 1 等米比率を高めるため、病虫害防除指導会を開催 (3 回、378 人)
単収向上を図るため、適期追肥を指導 (2 回、370 人)
- ・ (畜産) 家畜の長命連産を目的とした飼養管理の改善を提案 (6 戸)
自給飼料の生産拡大を図るため、現地指導会を開催 (1 回、20 人)
特定家畜伝染病の発生に備えた体制整備と意識を統一 (10 月、1 回)

重点取組 3 : みんなが生き生き暮らせる、持続可能な農村づくり

○ 地域の関係者の合意形成により地域の将来を明確化した「地域計画」の実践を支援

- ・ 地域をけん引する担い手を育成するため、営農相談を実施 (2 件)
- ・ 地域計画の目標を達成するため、地域懇談会の開催を支援 (6 町村)

○ 野生鳥獣被害対策を推進

- ・ 適切な防止対策を啓発するため、侵入防止柵の点検指導会を開催 (1 回、10 か所)、鳥獣被害防止対策交付金事業を活用した対策の推進 (6 地域協議会)



【電気柵研修会】

○ 耕作放棄地の解消を支援

- ・ そばの作付拡大を推進するため、現地指導会を開催 (2 回、36 人)

○ 環境にやさしい農業の推進を支援

- ・ みどり戦略の意識高揚を図るため、環境に負荷をかけない取組を啓発 (5 回、20 人)

○ 多面的機能支払及び中山間直接支払事業による集落維持活動等の推進

- ・ 取組組織数の維持及び活動の支援 (多面 20 組織、中山間 57 組織)
⇒ 6 月 7 日に中信地域管内の多面的機能支払事業担当者会議を開催
なお、課内に多面的機能支払事業相談窓口を常時開設中
- ・ 多面的機能支払事業の事務手続き研修会、水路等の維持補修に関する講習会の開催
⇒ 事務手続きに関する研修会、水路等の維持補修に関する講習会等の開催 (2 回)
上記研修会及び講習会を、南木曽町 (4 組織) で開催 (10 月)

○ 農業用水を活用した小水力発電施設の整備推進及び技術的支援

- ・ 管理運営方法等研修会への参加と各種調整における技術的な支援
⇒ 小学生を対象に小水力発電施設見学会を開催 (11 月 6 日 南木曽小学校 4 年生)
図上における適地調査を木祖村他 1 か所で実施 (11 月～3 月)

重点取組 4 : 木曽ならではの食による地産地消と食育の推進

○ 食育の支援

- ・ 子ども達の地域の農畜産物への理解を深めるため、小中学校を対象とした食育授業を実施 (伝統野菜 2 校、木曽牛 4 校)

○ 伝統野菜の生産を支援

- ・ 伝統野菜の生産安定を図るため、栽培指導会を開催 (1 回、8 人)



【木曽牛給食の日】

(7) 松本地域 ～持続可能な農業新時代～継承しよう豊かな食と農～

■達成指標の進捗状況

重点 取組	達成指標	2021 年度	2025 年度		2027 年度
		現状	計画	実績	目標
1	中核的経営体数	1,924 経営体	2,000 経営体	2,132 経営体	2,040 経営体
	新規就農者数 (49 歳以下)	34 人	27 人	33 人	27 人
2	りんご高密度植栽培導入面積	116ha	140ha	148ha	150ha
	小麦「しろゆたか」の栽培面積	1 ha	250ha	556ha	250ha
	夏秋イチゴ「サマーリリカル」の生産量	18 t	23 t	8 t	27 t
	自給飼料作物の栽培面積	478ha	483ha	510ha	485ha
3	農業用水を安定供給するために重要な農業水利施設の整備箇所数	2 か所	3 か所	3 か所	4 か所
4	農業用ため池の地震耐性評価の実施箇所数	27 か所	79 か所	77 か所	95 か所
	地域ぐるみで取り組む多面的機能を維持・発揮するための活動面積	11,622ha	11,845ha	11,548ha	11,846ha
5	学校給食における県産食材の利用割合 (品目ベース)	54.0%	55.1%	58.1%	56.0%

重点取組 1：農業を担う経営体の育成と人材の確保

- **新規就農者の確保及び、栽培技術・経営管理の習得等による育成と地域への定着を支援**
 - ・ 就農意欲向上を図るため、県農大生を対象とした就農ガイダンスを開催（1 回、10 人）
 - ・ 円滑な就農に向け、関係機関とともに定期巡回等により里親研修生の育成を支援（9 人）
 - ・ アグリマスターセミナーを開催し、新規就農者等の技術・経営管理能力の習得・向上を支援（12 回、32 人）
- **地域計画（人・農地プラン）の実行や、担い手を対象とした支援策の活用等による中核的経営体の確保・育成と経営の安定・発展を支援**
 - ・ 集落懇談会への参画等を通じ、地域計画のブラッシュアップ及び実現を支援（8 市村）
 - ・ 補助事業の活用や経営相談等により、中核的経営体等の経営発展を支援（14 経営体）



【地域計画策定懇談会（安曇野市）】

重点取組 2：持続的な農畜産物の生産と安定供給

- **環境負荷低減技術、温暖化に対応した生産技術及びスマート農業の拡大を支援**
 - ・ 労力軽減対策や環境にやさしい農業の普及のため、水田乗用除草機、自動抑草ロボットの効果検証及び導入を支援（試験ほ 1 か所、実演会 1 回）
- **県育成品種の生産拡大と品質向上を支援**
 - ・ 小麦「しろゆたか」の収量及び品質の安定を図るため、生育状況の確認（3 回）及び適期追肥に関する情報を提供（2 回）
 - ・ りんご「シナノリップ」の栽培面積拡大を図るためのモデル園を設置（1 か所、検討会 1 回）
 - ・ ぶどう「クイーンルージュ®」の早期産地化を図るためのモデル園を設置（3 か所）
- **すいか、ながいも、わさび等の地域ブランド品目の生産安定と販路拡大を支援**
 - ・ ながいもの収量性向上を図るため、オオムギ間作の試験ほを設置（3 か所、検討会 1 回）



【「しろゆたか」生育状況調査（松本市）】

○ 飼養衛生管理の徹底及び危機管理体制の強化

- ・ 連絡会議や高病原性鳥インフルエンザの発生を想定した防疫演習を実施し、関係機関との連絡強化と防疫体制を確認・整備（各1回）



【防疫演習（松本市）】

重点取組3：基盤整備の推進と農地の効率的活用

○ 営農効率を高めるため、水田の汎用化等の基盤整備を推進

- ・ 農地の大区画化や畑地かんがい施設の更新整備により、担い手農家への農地集積を加速化（7地区）
- ・ 市村及び土地改良区等が行う水田等の営農効率、汎用化等の基盤整備を支援（1村ほか）



【畑地かんがい施設
洗馬妙義地区（塩尻市）】

○ 水管理の省力化と用水の安定供給を図るため、長寿命化計画に基づく水利施設の更新を推進

- ・ 頭首工等の水門の遠隔化（2地区）、長寿命化計画に基づく基幹水利施設の更新（1地区）を実施
- ・ 市村及び土地改良区が行う長寿命化計画の策定及び支線水利施設の更新支援（4市村ほか）

重点取組4：安全安心で持続可能な農業・農村の活性化

○ 対策が必要な防災重点農業用ため池の地震耐性評価

- ・ 市村が行う農業用ため池の地震耐性評価（11か所）を支援（5市村）

○ 農業用ため池の低水管理に伴う雨水貯留による流域治水対策の推進

- ・ 農業用ため池を活用した雨水貯留の取組による流域治水対策を推進（7市村）



【地すべり対策 松本地区
（板場）（松本市）】

○ 地すべり防止施設等の長寿命化の推進

- ・ 地すべり防止施設の長寿命化計画に基づく補修、更新を推進（3地区）

○ 用水路等の維持や農産物生産の継続のほか、住民参加による地域活動の活性化を支援

- ・ 多面的機能支払や中山間地直接支払を活用し、地域住民が共同で取り組む地域資源の質的向上活動を支援（8市村）

○ 野生鳥獣による被害軽減のための防護柵の設置・管理など地域ぐるみの取組を促進

- ・ 交付金を活用し、個体数調整や防護柵の設置等の対策を支援（8協議会）
- ・ 検討会への参画等による地域での有効な対策の実施に向けた活動支援（2か所、4回）

○ 風食対策に向けた緑肥作物等の利用促進

- ・ 風食対策協議会と連携し緑肥、グランドカバープランツの現地普及拡大（資料作成、検討会2回）

重点取組5：松本地域の食材を活かした地産地消や食育活動の推進

○ 農業体験や地域の食文化の伝承など食育活動を行うグループの育成と活動を支援

- ・ 関係団体と連携し、小学校児童を対象とした「りんご学習会」の開催を支援（3回、165人）
- ・ 女性農業者組織が取り組む次代への食文化伝承を目的とした講習会の開催を支援（12回、270人）



【「のりまん」講習会（安曇野市）】

(8) 北アルプス地域 ～「人」と「食」がつながる北アルプス山麓の農業農村～

■ 達成指標の進捗状況

重点 取組	達成指標	2021 年度	2025 年度		2027 年度
		現状	計画	実績	目標
1	中核的経営体数	423 経営体	480 経営体	429 経営体	500 経営体
	新規就農者数（49 歳以下）	4 人/年	6 人/年	9 人/年	6 人/年
2	大規模水稻経営体におけるスマート農業技術導入率	38%	48%	63.8%	57%
	機械収穫適性に優れた大豆品種「すずみのり」の栽培面積	5 ha	100ha	108ha	100ha
	信州の環境にやさしい農産物認証制度取得面積・認定件数	156.1ha 44 件	160.0ha 45 件	127.3ha 38 件	170.0ha 49 件
	稼ぐ産地を支える基盤整備（区画拡大等）の実施面積（累積）	27.0ha	71ha	69.1ha	82.0ha
3	高収益作物の導入を可能にする農地の整備面積（累積）	3.1ha	5.4ha	10.5ha	13.0ha
4	地域ぐるみで取り組む多面的機能を維持発揮するための活動面積（多面的機能支払＋中山間直払）	4,122ha	4,202ha	4,219ha	4,202ha
	農業用水を活用した小水力発電施設の設置箇所数	1 か所	1 か所	2 か所	2 か所
5	北アルプス山麓ブランド認定品目数	123 品	136 品	142 品	140 品
6	学校給食における県産食材の利用割合（品目ベース）	47%	45%	46.8%	48%
	食農教育、農業・農村体験交流活動の実施回数	33 回	30 回	48 回	35 回

重点取組 1：北アルプス地域の農業を支える担い手の確保・育成

- 北アルプス地域農業において、将来像が明確化された地域計画の実現に向けた支援
 - ・ 市町村の将来像・課題に沿った現地支援（4 月～3 月、計 20 回）
- 新規就農者の確保・育成と、支え手として多様な人材の確保
 - ・ 新規参入・親元就農者への就農支援（相談 20 名、東京相談会 2 回〔7/6、11/15〕）
 - ・ 里親農業者の新規登録支援（相談 6 名〔水稻 1、果樹 3、野菜 2〕、新規登録 6 名）
 - ・ 里親研修生・修了者への技術・経営支援（研修 3 名、修了 1 名、月 1 巡回、R8 研修開始 2 名確保）
 - ・ 農福連携の周知、福祉事業所 3 か所と農業者 2 名のマッチング支援（果樹、野菜管理作業）



【集落懇談会（池田町）】

重点取組 2：新技術の活用、持続可能な生産、稼ぐ産地を支える基盤整備の推進

- 高密度播種育苗・直播栽培技術など新技術を活用した水稻の低コスト・省力栽培の推進、スマート農業技術の活用による生産の効率化、米の安定生産・品質向上の支援
 - ・ 低コスト・省力稲作新技術の現地実証（水稻直播実証 3 か所、5～10 月、〔大町市、池田町、白馬村〕）
 - ・ 補助事業を活用した水稻関係のスマート農業機械導入支援（10 件）
- 環境にやさしい農業（有機農業など）の面的拡大を推進
 - ・ 環境認証制度等の活用促進（新規及び再認定に向けた個別相談 38 件、認定 127.3ha）



【水稻直播現地実証（白馬村）】

- **中核的経営体の経営安定に向けた基盤整備事業の推進及び導入品目の生産安定等を支援**
 - ・ 担い手の規模拡大を支援する経営体育成基盤整備事業の工事着手（5.5ha）

重点取組3 マーケットニーズの高い園芸作物の産地づくり

- **りんご、ぶどう等県オリジナル品種を中心とした新植及び改植、園地更新等の推進及び品質向上に向けた技術支援を実施**
 - ・ 安定生産のための基本技術の励行（講習会3回〔6会場〕）
 - ・ 新規栽培者向けりんごセミナーの開催（受講者11名、〔講座7回〕）
- **水田への収益性の高い新たな品目導入のため、必要な機械等の導入に向けた補助事業等の活用支援**
 - ・ 収益性の高い新規品目における作業効率化に向けた機械の現地実証（ジュース用トマト、アスパラガス：平高うね整形機2件、白ネギ：調整機1件、土揚げ機1件）



【りんごセミナー（せん定）】

重点取組4：暮らしの場としての農村の振興

- **多面的機能を維持するため、地域住民を主体に企業との連携による地域ぐるみの共同活動のほか、住民主体で行う野生鳥獣被害防止対策の取組支援**
 - ・ 個体管理、被害管理、環境管理を総合的に実施する集落の取組支援（研修会1回）（5協議会、侵入防止柵設置（8,540m）等）
- **農村型地域運営組織（農村RMO）の組織化による農村コミュニティの維持**
 - ・ 組織化に関する個別相談対応（大町市、2回）



【獣害被害防止研修会】

重点取組5：北アルプス山麓ブランド等を活用した地域振興

- **気象条件や立地条件など北アルプス山麓の特色を活かし生産された農畜産物や加工品を「北アルプス山麓ブランド」として認定**
 - ・ 新たな地域特産品の北アルプス山麓ブランド品としての認定（新規3品、再認定17品）
- **北アルプス山麓ブランド認定事業者に対する輸出に向けた支援の実施**
 - ・ 北アルプス山麓農畜産物ブランド運営委員会と連携し、台湾向け輸出に係る事業者とパイヤー間の調整を実施（4回〔6/17、9/18、10/14、10/31〕）
- **観光業者と連携した販売促進の実施**
 - ・ 台湾への輸出、販売定着に向け物産展を開催（10/31～11/2、台中市「裕毛屋」）
 - ・ インバウンド等に対応するため、国内での販売促進・PRのために物産展を開催（5/5 松本駅前、7/19 銀座NAGANO）



【認定審査会】



【物産展〔台湾〕】



【物産展〔松本〕】



【物産展〔銀座〕】

重点取組6：多彩な農村資源を活用した食の地消地産と食育の推進

- **学校給食等給食事業者が求める農畜産物の生産組織の育成と供給体制の整備**
 - ・ 学校給食等での活用に向けた情報交換会の開催支援（2回〔6/5、6/12〕）
- **農村生活マイスター等を核とし、栄養教諭等と連携した児童・生徒への食育活動による次世代への食文化の継承**
 - ・ 北アルプスおむすびプロジェクトと連携し、基幹品目の米消費拡大イベント実施（おむすびづくり体験3回〔57名〕）（7/18 銀座NAGANO、2/9 松川村）
 - ・ 農村生活マイスターを核とした食育活動支援（体験・交流活動支援48回）
- **観光と連携した学習旅行等の受け入れ、収穫体験等の充実**
 - ・ 国内外からの学習旅行の受入れや都市部からの誘客を促進し、地域内農産物の消費拡大等を図るため、旅行事業者向け誘客プロモーションの実施（7月 東京、11月 台湾）



【おむすびづくり体験】

(9) 長野地域 ～人と人がつながり力強く未来へ躍進する長野農業～

■達成指標の進捗状況

重点 取組	達成指標	2021 年度	2025 年度		2027 年度
		現状	計画	実績	目標
1	中核的経営体数	1,479 経営体	1,600 経営体	1,731 経営体	1,650 経営体
	果樹の新規就農者数	36 人/年	30 人/年	30 人/年	30 人/年
2	りんご高密度栽培導入面積(新しい化栽培含む)	139ha	151ha	139ha	157ha
	果樹県オリジナル品種等の栽培面積	1,473ha	1,864ha	1906ha	1,550ha
	畑地かんがい施設により用水が確保された農地面積	—	458ha	511ha	650ha
	果実産出額	335 億円 (2020 年度)	343 億円	392 億円 (2024 年度)	354 億円
3	軽量野菜(ピーマン)の共同選果調製施設の利用率	—	70%	70.41%	70%
	化学合成農薬・化学肥料を原則 50%以上削減した栽培や有機農業に取り組む面積	306ha	408ha	305ha	470ha
	スマート農業技術の導入経営体数	14 経営体	42 経営体	49 経営体	42 経営体
4	農村型の地域運営組織(農村 RMO) 数	0 組織	2 組織	2 組織	1 組織
	野生鳥獣による農作物被害額	95.2 百万円	91.7 百万円	107.8 百万円	90.0 百万円
5	排水機場の更新等により安全が確保された地域面積	—	490ha	503ha	570ha
	水門を自動化・遠隔化した農業水利施設の箇所数	16 か所	42 か所	42 か所	25 か所
6	売上額 1 億円を超える農産物直売所の売上高	20.7 億円	21.4 億円	41.5 億円	22 億円
	学校給食における県産食材の利用割合(品目ベース)	50%	51.1%	45.1%	52%

重点取組 1：長野地域の農業を支える多様な担い手の確保・育成

- 長野地域の農業をけん引する強く柔軟な経営体を育成
 - ・ 農業経営者総合サポート事業を活用し担い手への専門家派遣等を実施
 - ・ 「地域計画」ブラッシュアップに向け重点支援地域を選定(11 地域)
- 新規就農者の安定確保と技術力・経営力の向上を支援
 - ・ 就農相談会や新規就農里親研修の実施(就農相談会 56 組)
 - ・ 技術習得セミナー等の開催や就農計画作成を支援(セミナー等 6 回)
- 雇用労働者の安定確保のための労働環境整備を推進
 - ・ 農業バイトマッチングアプリを市町村等と連携し周知
- 多様な人材による支え手の確保を支援
 - ・ 市町村・JA の広報誌による農福連携の啓発と「お試しノウフク」等の実施(7 回)
- 担い手へ農地の利用集積を促進する用排水路や耕作道路を整備
 - ・ 市町村が行う補助事業の支援や耕作道路の整備などを実施(5 地区)



【重点支援地区で地域計画を議論】

重点取組 2：全国トップクラスの果樹産地づくり

- 適地への省力化栽培技術導入や改植等によるりんご・ももの産地力向上を支援
 - ・ 省力化技術導入講習会(9 回)及び凍霜害防止・盗難防止キャラバン等の実施
 - ・ M.9 台木樹定植前の固相率診断の実施(14 ほ場)及び腐らん削取り講習会の開催(6 回)
 - ・ 宿泊施設等と連携した地元産果物の観光客への提供(15 施設)
- 県オリジナル品種等の戦略的導入とハウス・冷蔵庫の整備によるぶどう産地の発展を支援
 - ・ りんご「シナノリップ」、ぶどう「クイーンルージュ®」の栽培講習会の開催(2 回)、及び情報交換会の実施(1 回)
- 担い手への優良農地利用の集積や樹園地継承を促進
 - ・ モデル地区(高山村)における研修会の開催(7 月)及びアンケート調査の実施(400 件)
 - ・ 県オリジナル品種への改植による園地の収益性の向上を支援(17.1ha)
- 脱炭素化技術の導入や異常気象等に強い技術の普及による気候変動対策を推進
 - ・ 須坂市・民間業者と連携し、生産者の剪定枝を運搬し固形燃料化する実証実験を実施



【りんご腐らん病点検を実施】

- **産地強化につながる輸出拡大**
 - ・ タイ向け果実4件、ベトナム向け果実1件の輸出登録申請を支援
- **果樹栽培を支える畑地かんがい施設を整備**
 - ・ 最適な更新に向け、畑地かんがい土地改良区の意見交換会を開催（1回）
 - ・ 耐用年数を超過した取水施設や管水路の更新等実施（4地区）

重点取組3：長野地域の特色を生かした農畜産物の安定生産

- **高収益作物の導入による水稲経営体の経営力強化を支援**
 - ・ 高温登熟障害・倒伏対策と斑点米カメムシ防除の推進（栽培指導会3団体等）
- **ピーマン等軽量野菜の生産拡大と品質向上を支援**
 - ・ ピーマン選果場の活用による生産拡大と栽培講習会の開催（6回）
- **トルコギキョウ等需要に対応した花きの生産安定を支援**
 - ・ トルコギキョウの土壌病害に対する効果的な防除法の普及（1回）
- **きのこの病害虫対策と経営安定を支援**
 - ・ 施設の衛生管理指導（5回）及び培地資材価格高騰支援の実施（51件）
- **環境にやさしい農業を推進**
 - ・ みどり認定制度を環境にやさしい農産物認証取得者等へ周知（60件）
- **品目や地域の条件に適したスマート農業技術の普及を推進**
 - ・ 細霧ミスト等を活用した環境改善技術の導入に向け検討会を開催（2か所）
 - ・ スマート農業機械研修会、技術導入推進会議の開催（1回）
- **経営基盤の維持、強化による健全で持続可能な畜産経営を推進**
 - ・ 豚熱防疫演習の開催（1回）及び野生イノシシ用ワクチンの散布（62地点）
- **栽培に不可欠な農業用水を安定供給する農業水利施設を整備**
 - ・ 機能保全計画に基づき基幹的な揚水機場や水路トンネルを改修（2地区）



【VRで農作業安全講習を実施】

重点取組4：多様な人材で支え、皆で取り組む農村づくり

- **地域住民と農村移住者の協働や関係人口との連携による地域農業への理解を促進**
 - ・ 地域住民や農業者が協働して行う農地・農業水路等の保全活同を支援（128組織）
- **地域資源を最大限活用した「輝く農山村地域」の創造を推進**
 - ・ 「りんご」を起点とした飯綱町の多様な取組を支援（打合せ会議2回・随時支援）
- **農村型地域運営組織(農村RMO)の構築による農村コミュニティの維持を推進**
 - ・ 地域運営組織の自走に向けた伴走支援を実施（2組織）
- **野生鳥獣から農作物を守る地域ぐるみの取組を支援**
 - ・ 野生鳥獣被害対策研修会の開催（1回）とHP等で放任果樹・廃果処理の啓発広報を実施

重点取組5：いつまでも安心して暮らせる農村づくり

- **千曲川沿いの排水機場ポンプ設備の更新・増強を推進**
 - ・ 機能低下施設の更新及び排水量の増加に対応したポンプの増強（4機場）
- **防災重点農業用ため池の地震・豪雨耐性評価と防災工事を実施**
 - ・ 地震耐性評価（11か所）への支援及び防災工事の実施（2か所）
- **地すべり防止施設の長寿命化計画に基づく対策工事を実施**
 - ・ 水抜きボーリング孔の洗浄及び排水路の補修を実施（3地区）
- **ICTを活用した水門の自動化・遠隔化を推進**
 - ・ 大雨時に水位を感知して自動開閉する水門の整備を実施（12か所）
- **排水機場のしくみと役割を紹介する学習会を実施**
 - ・ 土木系大学生等へ施設の役割や機能等を説明（2回）



【豪雨時に自動で開門する水門を設置】

重点取組6：長野地域で守り育てる食の継承

- **農産物直売所の販売力強化及び農産物加工組織の活性化を支援**
 - ・ 加工組織の事業継承に係る事例調査の実施（3事例）と情報交換会の開催（1回）
- **伝統野菜、そば、郷土食など長野地域で守り育てた食の継承を支援**
 - ・ 戸隠中学校において栽培支援（2回）、辛味大根交流会（1回）を実施

(10) 北信地域 ～未来につなげ！人と地域が織りなす北信州の食と農～

■達成指標の進捗状況

重点 取組	達成指標	2021 年度	2025 年度		2027 年度
		現状	計画	実績	目標
1	中核的経営体数	1,219 経営体	1,230 経営体	1,431 経営体	1,250 経営体
	新規就農者数（49 歳以下）	20 人/年	31 人/年	29 人/年	31 人/年
2	化学合成農薬・化学肥料を原則 50%以上削減した栽培や有機農業に取り組む面積	401ha	540ha	415ha	610ha
	農業用ドローンによる防除面積	45.2ha	60ha	44ha	70ha
3	果樹県オリジナル品種等の栽培面積	460ha	556ha	480ha	620ha
	野菜・花き振興品目の栽培面積	598ha	640ha	215ha	670ha
4	地域ぐるみで取り組む多面的機能を維持・発揮するための活動面積	4,266ha	4,170ha	4,125ha	4,200ha
5	農業用水を安定供給するために重要な農業水利施設の整備箇所数	4 か所	8 か所	8 か所	9 か所
	湛水被害から農村を守る排水機場のポンプ設備の更新機数	—	0 機	0 機	4 機
6	農産物直売所の売上高	18.3 億円	22 億円	27 億円	23 億円

※中核的経営体の実績は暫定値

重点取組 1：人材の確保と皆が憧れる経営体の育成

○ 農業経営者総合サポート事業等の活用による中核的経営体の経営発展への支援

- ・ 14 人の重点支援対象者への伴走支援及び専門家派遣（5 回）により課題解決を支援
- ・ 3 月に農業経営継承セミナーを開催し、円滑な親子間継承の促進を支援

○ 「北信州農業道場」等による新規就農者育成と多様な担い手の確保

- ・ 意欲ある新規就農者の育成・定着のため、北信州農業道場の品目別コースと選択講座を開催（26 回 229 名参加）

○ 担い手の経営を支える雇用労働力の確保に向けた支援

- ・ 果樹生産における農作業労働力確保の体制構築に向け、3 月に農作業入門講座を開催するとともに、1 日農業バイトアプリの利用を推進



【農業道場ももコース】

重点取組 2：環境にやさしい農業の取組とデジタル技術等の活用

○ 環境負荷を低減した環境にやさしい農業の推進と安全安心な農畜産物生産への支援

- ・ グリーンな栽培体系への転換のため、緑肥を活用した実証ほを設置（3 か所）
- ・ 中干し期間の延長による水田からのメタンガス発生抑制の展示ほを設置するとともに、講習会（2 回）により、環境にやさしい栽培体系への転換を支援

重点取組 3：マーケットニーズに対応した北信の農畜産物の生産強化

○ 需要に応じた米生産を基本に、良食味米や業務用米・酒米の安定生産と収益性の高い米生産を推進

- ・ 需要に応える品質の高い酒米生産のため、J A と連携し指導会（4 回）を開催
- ・ 干ばつによる渇水状況における生育確保に向け、7 月に関係機関団体への技術対策を発出するとともに、現地巡回指導を実施

○ 果樹県オリジナル品種等の生産拡大と高位安定生産を推進

- ・ クイーンルージュ®の摘粒省力化の検討
- ・ 産地生産基盤パワーアップ事業を活用し、ぶどう棚の整備（119.5a）、冷蔵庫（12 台）や加温機（19 台）等のリース導入を支援
- ・ 5 月に広範囲で発生した強風を伴う降雹に対して、J A と連携して全被災園地の現況確認と程度別の技術対策の巡回指導を実施



【干ばつ対策現地巡回】

○ 野菜・花き振興品目の生産を推進

- ・ アスパラガスの生産振興のため、枠板式高畝栽培等の高単収省力化技術の実証と、雨よけ

- 栽培モデルほ場を設置（3か所）
- 信州の伝統野菜の品質向上と収量確保のため、現地指導会を開催（3品目6回）
- シャクヤクの安定生産に向け、露地栽培の凍霜害対策実証モデルほ場を設置し、現地検討会を開催（1回）
- 産地生産基盤パワーアップ事業を活用し、加温施設の整備を支援（14棟）
- **きのこの栽培環境対策と異物の混入防止及びGAP手法に基づく衛生管理基準の強化**
 - 異物混入防止のため、JAと連携して現地巡回（2件）を実施し、改善策を提案
- **家畜の飼養衛生管理及び危機管理体制の強化**
 - 家畜防疫対策強化に向け、中野市で豚熱対策を中心とした特定家畜伝染病の防疫演習を実施し、飼養衛生管理の徹底を推進

重点取組4：農的つながり人口の創出・拡大による農村づくり

- **「地域計画」に基づく適切な農地利用**
 - 地域計画のブラッシュアップに向け、検討会に参加・助言（3地域）
- **地域ぐるみで取り組む多面的機能の維持**
 - 農地、水路・農道等の保全活動等を行う地域ぐるみの共同活動に必要な、多面的機能支払事業の活動組織向け研修会を実施（6市町村）
- **美しい棚田や起伏のある地形から生まれる農業用水のもつポテンシャルなど地域資源を生かした農村の活力創出**
 - 下高井農林高校において農業資産をテーマにした地域学習を実施
- **野生鳥獣被害の実態に応じて総合的に実施する地域ぐるみの被害防止対策を関係機関連携により支援**
 - 広域電気柵の適正な維持管理指導のため、交付金事業の完了検査時に併せて、管理状況確認と改善指導を実施（4市町村）



【地域計画 検討会】

重点取組5：安全安心で持続可能な農業・農村の基盤づくり

- **農産物の安定生産と品質確保に必要な農業用排水施設と畑地かんがい施設の計画的な長寿命化**
 - 果樹産地の畑地かんがい施設の計画的な更新を中野西部地区で実施
 - 農業水利施設の計画的な更新に向けた改修計画の策定を支援（3地区）
 - 小規模な水利施設の長寿命化対策に係る支援を実施（8地区）
- **頻発化・激甚化する災害から暮らしを守る農業・農村の強靱化**
 - 湛水被害から農村を守る排水機場の整備を実施（2地区）
 - 防災重点農業用ため池の地震耐性評価を実施（2池）
 - 地すべりのおそれがある地域における防止工事を実施（4地区）
- **農業用ため池などを活用した流域治水対策への支援**
 - 飯山市が行うため池を活用した洪水調整機能強化に対する支援
- **「地域計画」に基づいた稼ぐ産地を支える基盤整備の推進**
 - 山ノ内町において地域が考える営農の実現に向けた基盤整備への計画策定を支援
- **中山間地域など地域の実状に応じたきめ細かな基盤整備の推進**
 - 中山間地域における農業を核とした地域活性化のため、基盤整備を栄地区で実施



【地すべり防止工事】

重点取組6：食の地産地消の推進と次代への伝承

- **飲食店・宿泊施設等関係事業者と連携した地域食材を提供する機会の拡大**
 - 地域食材の認知度向上及び消費拡大を図るため、関係機関と一体となり、飲食店等における地域食材を活用したフェアをデジタルスタンプラリー形式で実施
- **学校や地域において、次代を担う子供たちを中心に食育を推進**
 - 子どもたちの地域食材への関心を高め、「食の大切さ」を学ぶ機会を創出するため、中野市・飯山市・野沢温泉村において、給食事業者等と連携したきのこの収穫体験等の食育講座を実施（4回）



【きのこ食育講座】

第 6 章

参考資料

- ・ 令和 7 年度 主な農業関係表彰事業受賞者一覧

令和7年度 主な農業関係表彰事業 受賞者一覧

1 全国表彰

表彰行事名	表彰の名称	受賞者	
		氏名	市町村名等
第85回中日農業賞	優秀賞	清野 友之	中野市
令和7年度農山漁村女性活躍表彰 (女性地域社会参画部門(組織))	最優秀賞 (農林水産大臣賞)	味工房小諸すみれ	小諸市

2 県域表彰

表彰行事名	表彰の名称	受賞者		受賞部門
		氏名	市町村名等	
令和7年度知事表彰	知事表彰	原 昭章	喬木村	産業功労者
		駒村 和久	長野市	産業功労者
令和7年度 園芸特産業関係功労者 表彰	知事表彰	佐久ゆうき合同会社	佐久市	野菜（有機農業）
		大井 美知男	南箕輪村	野菜（伝統野菜）
		岡本 浩三	泰阜村	野菜（伝統野菜）
		矢花 功	安曇野市	水産

3 県域行事（品評会等賞状）

行事名	賞の名称	受賞者		受賞部門・受賞品
		氏名	市町村名等	
【農林水産祭参加行事】				
第 58 回 うまいくだものコンクール （ぶどうの部）	農林水産大臣賞	中村 悠基	上田市	ぶどう（シャインマスカット）
	農林水産省農産局長賞	渋谷 光太郎	須坂市	ぶどう（シャインマスカット）
	長野県知事賞	梅田 健也	飯田市	ぶどう（シャインマスカット）
第 58 回 うまいくだものコンクール （りんごの部）	長野県知事賞	山戸 敬太	山ノ内町	りんご（秋映）
第 57 回 鉢花類コンクール	農林水産大臣賞	有限会社 田澤農園 田澤 充朗	木曽町	シクラメン （ファルバラローズ）
	農林水産省農産局長賞	広原園 小林 慧	原村	ミニシクラメン （グリーンティアラ）
	長野県知事賞	宮坂園芸 宮坂 太木	原村	シクラメン （キャンディケーン）
		H&L プランテーション 鶴飼 和仁	富士見町	ガーデンシクラメン （タキシード）
令和 7 年度 長野県ジュース用ト マト生産力向上共進 会	農林水産大臣賞	二木 秀幸	松本市	ジュース用トマト
	農林水産省農産局長賞	中川 廣	山形村	ジュース用トマト
	長野県知事賞	務台 康紀	安曇野市	ジュース用トマト
第 21 回 園芸加工品品評会 （園芸加工飲料の 部）	農林水産大臣賞	ゴールドパック株式会 社	松本市	ピーチジュース（ストレ ート）
	農林水産省大臣 官房長賞	信濃ワイン株式会社	塩尻市	ぶどう畑直送ジュース （赤）コンコード
	農林水産省農産 局長賞	寿高原食品株式会社	千曲市	しぼりっぱなしりんごジ ュース（ビン）
	長野県知事賞	長野興農株式会社	長野市	Grin a Grin 信州まるごとピ ーチジュース（加糖）
		株式会社ナガノトマト	松本市	信州のトマトジュース
第 21 回 園芸加工品品評会 （園芸加工食品の 部）	農林水産大臣賞	森食品工業株式会社	千曲市	森杏庵 完熟あんずジャ ム
	農林水産省大臣 官房長賞	株式会社スドージャム	安曇野市	旬の雫 信州産 川中島 白桃
	農林水産省農産 局長賞	デイリーフーズ株式会 社	坂城町	こだわりの長野県産りん ご
	長野県知事賞	株式会社ナガノトマト	松本市	特選なめ茸うす塩味
		寿高原食品株式会社	千曲市	信州産 紅ほっぺいちご ジャム

行事名	賞の名称	受賞者		受賞部門・受賞品
		氏名	市町村名等	
第 69 回 漬物類品評会 (浅漬物の部)	農林水産大臣賞	有限会社とみき漬物	野沢温泉村	昔ながらの野沢菜漬
	農林水産省大臣 官房長賞	株式会社マルトウ	長野市	長芋のガリバタ醤油
	関東農政局長賞	のざわおんせん 野沢菜漬生産組合	野沢温泉村	野沢菜漬け
	長野県知事賞	株式会社やまへい	小諸市	熟成 野沢菜漬
		有限会社宮城商店 木の花屋	千曲市	玉ねぎ 味噌漬
第 69 回 漬物類品評会 (本漬物の部)	農林水産大臣賞	岡本商店有限会社	木島平村	しょうゆ風味野沢菜
	農林水産省大臣 官房長賞	株式会社マル井	安曇野市	安曇野味付あらざりわさ び
	関東農政局長賞	有限会社とみき漬物	野沢温泉村	べっこう野沢菜漬
	長野県知事賞	新進漬物株式会社	木島平村	梅肉なめ茸
		株式会社くるまや	御代田町	野沢菜わさびきくらげ
令和 7 年度 長野県きのこ 品評会	農林水産大臣賞	有限会社常盤きのこセンター	飯山市	えのきたけ
		柳原 広茂	千曲市	ぶなしめじ
	長野県知事賞	掛野 剛	長和町	えのきたけ
		鶴田 直満	小布施町	ぶなしめじ
		赤羽 潔	伊那市	生しいたけ
第 54 回 寒天品評会	農林水産大臣賞	有限会社イチカネト 五味 嘉江	茅野市	角寒天
	水産庁長官賞	有限会社小笠原商店 小笠原 寿房	伊那市	細寒天
	長野県知事賞	松木寒天産業株式会社 松木 秀之	茅野市	角寒天
		株式会社マルゴ商店 五味 章充	茅野市	角寒天
第 78 回 長野県畜産共進会	農林水産大臣賞	三岳牧場	木曽町	肉用牛和牛肥育
	農林水産省畜産 局長賞	(有) 高原牧場	安曇野市	肉用牛種牛
		(農) 美雪ファーム樋口	栄村	肉用牛和牛肥育
	農林水産省関東 農政局長賞	(有) 小田切牧場	東御市	肉用牛和牛肥育
	長野県知事賞	長野県上伊那農業高等学 校	南箕輪村	肉用牛種牛
		小山 清志	喬木村	肉用牛種牛
		小林 和義	松本市	肉用牛交雑肥育

		久保田 聖	上田市	肉用牛交雑肥育
		井坪 章	飯田市	肉用牛和牛肥育
		(有)岩垂原エスピーエフ農場	松本市	肉豚
令和7年度明日の長野県農業を担う若人のつどい	長野県知事賞	森崎 幸司	松本市	プロジェクト発表の部
		望月 将悟	安曇野市	意見発表の部

行事名	賞の名称	受賞者		受賞部門・受賞品
		氏名	市町村名等	
【一般行事】				
第 76 回 下伊那子山羊共進会	最優秀賞 （長野県知事賞）	城田 政治	阿南町	
第 46 回 信州和牛（長野県産） 枝肉共励会	最優秀賞 （長野県知事賞）	三岳牧場	木曽町	大阪市食肉市場
		（有）小田切牧場 東部	東御市	京都食肉市場
長野県中央家畜市場 子牛共進会	最優秀賞 （長野県知事賞）	古原 敬久	川上村	雌
		小山 清志	喬木村	去勢
信州牛生産販売協議会 第 40 回肉牛枝肉共進会	特別優秀賞 （長野県知事賞）	高井富士畜産	山ノ内町	黒毛和種
令和 7 年度長野県 自給飼料共励会	最優秀賞 （長野県知事賞）	吉澤 克次	佐久	飼料用トウモロコシ
第 52 回 和牛繁殖技術共励会	最優秀賞 （長野県知事賞）	伊藤 公雄	飯田市	
第 22 回 鶏卵品質共励会	最優秀賞 （長野県知事賞）	中村 兵衛	JA みなみ信州	赤玉鶏種
第 8 回信州プレミアム 牛肉オール信州共進会 in 京都	最優秀賞 （長野県知事賞）	土屋畜産（株）	飯田市	
令和 6 年度 信州乳用牛群検定 農家コンクール	最優秀農家 （長野県知事賞）	塚田 伊佐男	坂城町	乳用牛
第 52 回長野県ブラック アンドホワイトショウ	グランドチャンピオン （長野県知事賞）	新海 益二郎	南牧村	
第 5 回「風さやか」 食味コンテスト	最優秀賞 （長野県知事賞）	（株）瀬戸ライ スファーム	辰野町	
佐久地域はちみつ共進 会	最優秀賞 （長野県知事賞）	新津 八朗	東御市	アカシア
長野県乳質改善共励会	最優秀賞 （長野県知事賞）	渡辺 俊夫	南信酪農協	年間 300t 以上
		小林 秀昭	南信酪農協	年間 150～300t 未満
		杉山 三津枝	JA 佐久浅間	年間 150t 未満

